

大谷小中学校だより

NO.6
令和6年 9月26日
珠洲市立大谷小中学校

～この度の豪雨災害により被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます～

実りの秋・収穫の秋

校長 鎌田 香

9月6日(金)に稲刈りを行いました。田植えをし、案山子を立てた岩ヶ下さんの田んぼでは無事に稲穂が実っていました。岩ヶ下さんは「皆さんが田植えをしたところを、整えたりせず、そのまま育てました。不思議と皆さんが植えたところは大きな株になりました。」というお話をされました。また、吉原さんからは稲の刈り方や鎌の扱い方、稲の縛り方を教えてもらいました。「昔は機械等がなかったから、みんなこうして手で植えて、鎌で刈って、稲架にかけて干していました。お米を収穫するには大変な労力が必要でした。私は昔、お米を粗末にすると目がつぶれるとよく言われました。みなさんもお米を大切にしてください。」という話もしてくださいました。「少数盛栄」を生かし、全員が稲を刈り、刈った稲を藁で縛る、稲架にかけるといった作業を体験することができました。また、こぼれた稲も大切に拾うことを通してお米を大切にすることを実践することもできました。最後に岩ヶ下さんから「あの案山子はよかった。地域の方々に、『あの案山子を見ると元気出るわ』と言われました。来年も、うちの田んぼでよければぜひ体験してください。」というお話がありました。

9月22日(日)にいよいよ「大谷ガチャ」が初設置されることになりました。最初は、カプセルに入れるものは、自分たちで作った塩やこいのぼりの切れ端にしようと考えていました。その後、食品衛生の観点から、自分たちで作った塩を売ることはできないことやいろいろな法律や制度について調べていくと、ある程度の商品でなければならないことを知り、壁があることに気づきました。壁を乗り越え、実現に向けての取組をする中で、塩田村の石田さんに塩を寄付していただき、先輩方が貯めてあったシーグラスや貝殻や黒米を使用することにしました。その後、正院町の宇都宮さんにレジンによるアクセサリーの作り方を教えていただき、金沢工業大学と金沢大学の学生ボランティアの方々に手伝っていただき、商品として販売できそうな作品が仕上がりました。ガチャの機会やカプセルなどは自画像教室に来てくださった福井さんと青山さんが会社に働きかけてくださって寄付していただきました。振り返ると地域の方々はもちろん、いろんな方々の支援があってここまで来たんだと改めてありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。このように多くの方々から支援していただいたのは、大谷の児童生徒のみなさんが、「5人でもできる5人だからこそできる＝少数盛栄」で夢の実現のために頑張る姿が心に響いたからです。

ガチャのポップには「希望を、まわせ。」という言葉を入れました。大谷ガチャをまわすことは、私たち大谷小中学校の希望をまわすことです。多くの方々に希望をまわしていただき、大谷の魅力が伝わるように今後も取り組んでまいります。

地域のみなさま、保護者のみなさま、今後とも大谷小中学校の教育活動にご支援をよろしくおねがいします。機会がありましたら、ぜひ、希望をまわしてください。

※残念ながら、9月22日(日)の設置は中止となりました。



■ 学校評価における自己評価より

7月に行った学校評価アンケートを基に1学期の教育活動の自己評価を行い、9月6日(金)の「第2回学校関係者評価委員会」でご意見をいただきました。

成果 授業がよくわかる!

よかったことは、児童生徒アンケート「授業(勉強)はよく分かる。」、保護者アンケート「お子さんは、授業が『よく分かる』と感じている。」がともに、肯定的な意見が100%だったことです。

教員も、「わかる授業をするために、教材研究と指導法の工夫をしている。」「『学校研究』を意識した授業改善を行っている。」に関して、肯定的な意見が100%です。それらが結びついていると考えられます。さらに日々の授業の充実をさせていきたいと思えます。

課題1 家庭学習について

家庭学習について、児童生徒も保護者も低い数値になっています。2学期が始まってすぐの学習集会で「家庭学習についての手引き」を配布し、話をすることで家庭学習の必要性ややり方などを共有しました。今後、さらに家庭とも連携して、家庭学習の充実に努めます。

課題2 読書について

読書についての数値も低かったわけですが、自分の中で想像力を働かせながら本を読むことで人間性を豊かにすることができます。読解力をつけるためにも、これまでの「ミニビブリオバトル」に加えて、「ホリデー読書」にも取り組み、読書指導を推進していきます。

課題3 あいさつについて

あいさつについては、もう少し元気がほしいところです。そのためにも、「早寝・早起き・朝ごはん」を推進して、1日のはじめに元気なあいさつが飛び交う学校にしていきたいと思えます。

生徒アンケート

評価の観点		A	B	C	D	(A+B)/計	全体平均
③ 授業(勉強)は、よく分かる。	前期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	後期	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%	

保護者アンケート

評価の観点		A	B	C	D	(A+B)/計	全体平均
① お子さんは、授業が「よくわかる」と感じている。	前期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	後期	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

教員アンケート

評価の観点		A	B	C	D	(A+B)/計	全体平均
④ わかる授業をするために、教材研究と指導法の工夫をしている。	前期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	後期	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%

生徒アンケート

評価の観点		A	B	C	D	(A+B)/計	全体平均
⑥ 宿題以外に授業の予習や復習をしている。	前期	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%
	後期	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

保護者アンケート

評価の観点		A	B	C	D	(A+B)/計	全体平均
④ お子さんは、家庭学習の習慣がある。(前期30分、中期60分、後期90分)	前期	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	後期	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	

生徒アンケート

評価の観点		A	B	C	D	(A+B)/計	全体平均
⑦ よく本を読んでいる。	前期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%
	後期	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	

保護者アンケート

評価の観点		A	B	C	D	(A+B)/計	全体平均
⑤ お子さんは、家で読書をしている。	前期	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	25.0%
	後期	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%

生徒アンケート

評価の観点		A	B	C	D	(A+B)/計	全体平均
⑧ 先生、友達や町の人に、自分から元気よくあいさつをしている。	前期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%
	後期	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	

保護者アンケート

評価の観点		A	B	C	D	(A+B)/計	全体平均
⑥ お子さんは、家族や町の人に自分から元気よくあいさつしている。	前期	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%
	後期	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	

10月 行事予定

1	火	街頭指導 7:30 安全点検	11	金	租税教室(6限)	21	月	委員会
2	水	金沢大学加藤准教授来校	12	土	能登地区新人陸上大会	22	火	
3	木	激励会	13	日		23	水	修学旅行(東京方面~25日)
4	金	英検(一次)中間テスト範囲発表(後期課程)	14	月	スポーツの日	24	木	サーカス鑑賞(ラポート)
5	土	能登地区新人卓球大会(穴水中)	15	火	街頭指導 中間テスト	25	金	遠足(6~8年生)
6	日		16	水	中間テスト 学教研	26	土	学校運営協議会(10:00~)
7	月	第2回珠洲の未来を考えるワークショップ(後期課程)	17	木		27	日	
8	火		18	金		28	月	
9	水	第2回珠洲の未来を考えるワークショップ(前期課程)	19	土		29	火	集会
10	木	職員会議	20	日		30	木	音楽の集い(6年生:ラポート)

☆運動会は延期になりました。開催については未定です。
親子スポーツ交流大会は、11月16日(土)に行われる予定です。

31 金 劇団四季「こころの劇場」(6・7年生:七尾市)

■ 全国学力学習状況調査・県基礎学力調査の振り返り

今年4月に6年生と9年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査と石川県基礎学力調査の結果が公表されました。

【6年生】

教科	国語	数学	理科	社会	英語	
本校	◎	◎	◎	◎	◎	◎5P以上高い、○2～5P高い ≡ほぼ同じ、△2～5P低い ▲5P以上低い
県	72.0	67.0	58.4	59.2	83.1	

【9年生】

教科	国語	数学	理科	社会	英語	
本校	◎	◎	◎	◎	◎	◎5P以上高い、○2～5P高い ≡ほぼ同じ、△2～5P低い ▲5P以上低い
県	62.0	57.0	53.8	45.8	51.0	

本校は、どの教科においても県の平均を5ポイント以上高い結果となりましたが、教科や分野によっては、苦手なところが見受けられました。

分析を行ったところ、「問われたことに対して、正確に・具体的に答える力が十分ではない。」ことがわかりました。そこで、「端的で明確な課題提示や発問をする（①5W1H『いつ』『なぜ』『何を』『どこで』『だれが』『どのように』を使い、考えるポイントを焦点化する。②主発問は必ず板書する。）」、「第3者の意見を提示し、児童生徒の考えを深めたり、揺さぶったりする。（ICTや教具などを使って提示する。）」と共通理解を持ち、日々の授業に臨んでいます。

■ 2学期始業式 9月2日(月)



2学期の始業式を行いました。今日は、何より5名全員が元気に登校したことがとても嬉しかったです。夏休みはさまざまな体験や人との出会いがあり、5名のみんなが一回り大きく、たくましく成長したことを感じました。とても有意義な夏休みだったようです。

始業式では、校歌をしっかりと大きな声で歌い上げることができました。素敵な姿です。校長先生からは、パリオリンピックの陸上女子100mの金メダリストである、ジュリエン・アルフレッド選手の言葉が紹介されました。セントルシアというとても小さな島国の出身である彼女の「小さな国の出身、どんな環境で育っても成功する。子どもたちにそう伝えたい。」という言葉は、今の大谷小中学校のみんなを勇気づけてくれたと思います。2学期は運動会・文化祭など多くの行事が予定されています。オール大谷で力を合わせて成功させましょう。

始業式では、校歌をしっかりと大きな声で歌い上げることができました。素敵な姿です。校長先生からは、パリオリンピックの陸上女子100mの金メダリストである、ジュリエン・アルフレッド選手の言葉が紹介されました。セントルシアというとても小さな島国の出身である彼女の「小さな国の出身、どんな環境で育っても成功する。子どもたちにそう伝えたい。」という言葉は、今の大谷小中学校のみんなを勇気づけてくれたと思います。2学期は運動会・文化祭など多くの行事が予定されています。オール大谷で力を合わせて成功させましょう。



■ 稲刈り 9月6日(金)



5月7日にみんなで田植えをし、案山子を作って守ってきた田んぼの稲が実りました。農家の方々は、稲架を作って用意をしてくださいました。農家の方に教えていただきながら、「稲を刈り、藁で稲を結び、稲架にかける」という作業を体験しました。昔は米を大切にしないと目がつぶれると言われたそうです。落ちた稲穂もしっかりと結び稲架にかけました。「自分たちが田植えをしたところが思ったより稲が実っていたので。うれしかったです。毎年やっても藁でしぼる作業が難しくできませんでした。米を作る仕事は、私たちは少ししかやっていないけれど、改めて大変だなと思いました。米を大切に食べようと思います。来年も田植えと稲刈りをやりたいです。」という感想がありました。

5月7日にみんなで田植えをし、案山子を作って守ってきた田んぼの稲が実りました。農家の方々は、稲架を作って用意をしてくださいました。農家の方に教えていただきながら、「稲を刈り、藁で稲を結び、稲架にかける」という作業を体験しました。昔は米を大切にしないと目がつぶれると言われたそうです。落ちた稲穂もしっかりと結び稲架にかけました。「自分たちが田植えをしたところが思ったより稲が実っていたので。うれしかったです。毎年やっても藁でしぼる作業が難しくできませんでした。米を作る仕事は、私たちは少ししかやっていないけれど、改めて大変だなと思いました。米を大切に食べようと思います。来年も田植えと稲刈りをやりたいです。」という感想がありました。



■ 奥能登新人卓球大会 9月7日(土)

奥能登新人卓球大会では、7年生と8年生が出場しました。団体戦では、柳田中学校と合同チームで出場し、穴水中学校と対戦しました。結果は惜敗しましたが、試合を経験できる良い機会となりました。合同チームを組んでくれた柳田中学校のみなさんに感謝です。



個人戦では、7年生が1回戦で惜敗しました。なかなか勝利できず、悔しい思いをしたと思います。それをばねに今後の練習に頑張ってください。8年生は3位という成績を収めました。3位決定戦では、ファイナルまでもつれ込む展開になりましたが、最後まであきらめず粘り強くプレーをしたことで勝利を収めました。次の大会でも最後まであきらめずに粘り強くプレーをしてほしいです。

■ 生き物観察会 9月9日(月)

今年度2回目の生き物観察会では、春に調べた生き物との違いなどを学びました。先日稲刈りをした田んぼでは、今回は虫取り網で生き物調査をしました。川では、前回と同じように川に住む生き物を調べました。児童の振り返りには「今回の生き物観察会では、エビ・カニ・ヨシノボリが多かったです。しかし、ヘビトンボなどが少なかったです。これは、復旧が進み、人が少しずつ住み始めたからではないかと思いました。」「ヨシノボリの皮膚がヌメヌメしているのはなんでだろう、と興味を持ちました。また、人間と生き物の関わりを考えることから、生き物の大切さがわかりました。」というものがありました。



■ ヴァイオリン演奏会 9月13日(金)

福島県よりボランティアで、ヴァイオリン奏者の武内さんとピアノ奏者の根本さんが来校され、演奏をしていただきました。生でヴァイオリンの演奏を聴く機会は、めったにないことなので、大変貴重な体験となりました。「アベマリア」や「ソイゴイネルワイゼン」などのクラシック曲はうっとりとする音色でした。また、「情熱大陸」や「上を向いて歩こう」などのポップスは楽しんで聞くことができました。ヴァイオリンの演奏で歌う赤とんぼも素敵でした。武内さん、根本さん本当にありがとうございました。



■ アスリート派遣事業 9月19日(木)

元ハンドボール日本代表選手の河田知美さんが来校され、「夢をアップデートし続ける生き方」と題した講演とハンドボールのパスやシュートなどの実技講習を行いました。講演では、ご自身の経験から「夢を宣言する」「自分の意志で選択する」「過程を大切にすること」を話していただきました。また、実技講習ではハンドボールを使って、パスやドリブル、シュートを練習しました。未知のスポーツに触れた貴重な時間でした。



- 日本一位という夢をもちながら、日本二位でも前向きでいられると知って尊敬しました。ぼくも、初めてハンドボールをして、とても楽しかったのでまたやりたいなと思いました。(晃史)
- 私は、以前から「夢」なんてどうせ変わるだろうなと思っていましたが、それがいいことだということを知って本当によかったです。(アメティス)

おめでとうございます！

- 市児童生徒理科研究作品展 入選 6年 川端 晃史
- おじいちゃんおばあちゃんの似顔絵コンクール 銅賞 6年 村上 アメティス 7年 水上 しゅり

- 「あきらめずに続けること」は、いつか夢をかなえられるのだと思いました。私の将来の夢は、まだ決まっていなくても、これから、いろんな経験をして夢を決めたいと思います。夢をかなえるために一生懸命努力をしてみたいと思います。(しゅり)
- 中学生からの夢をかなえるなんて、本当にすごいなと思います。私もなりたい職業を見つけたらその夢に向かってできることを全力でやって夢をかなえたいです。(美冬)
- 私は、今日の河田さんのお話の中で、「楽しかったので、あまり苦勞を感じなかった。」という言葉が印象に残っている。(中略) この言葉を聞いて、自分のやりたい職に就くことが最も苦勞を感じない道だと気づいた。これからは、自分のやりたい職を見つけ、それに向かって頑張りたいと思った。(駿介)